



東京感動線

2020年7月9日

東日本旅客鉄道株式会社

東京支社

山手線 高田馬場駅でまちの個性を活かした駅づくりを行います

～街の多様性を体現する場として「STAND by bookandbedtokyo」を開業します～

- JR東日本では、グループ経営ビジョン「変革 2027」 および 生活サービスビジョン「CITY UP！」(駅から、街から、未来をつくろう)の実現に向け、山手線を起点に、まちの個性を引き出し、まちや人が有機的につながる、心豊かな都市生活空間「東京感動線」の創造を進めています。
- このたび、「東京感動線」の取り組みとして、高田馬場駅に「泊まれる本屋『BOOK AND BED TOKYO』」を展開するアトリエブックアンドベッド株式会社が、同社初業態となる自由に本を貸し借りできるカフェ「STAND by bookandbedtokyo」を駅に初出店します。
- また、本施設を「駅の文化交流拠点」と位置づけ、地域企業や学校、団体と連携するとともに、多言語・点字メニューの導入など、街を彩るさまざまな文化的背景を持つ方々が気軽に立ち寄り、多様な文化の理解・交流が生まれる場づくりを応援します。



「STAND by bookandbedtokyo」店舗イメージ

1 施設概要

店舗名称 : STAND by bookandbedtokyo

事業内容 : カフェ

開業予定日 : 2020年8月26日(水)

所在地 : 東京都新宿区高田馬場1丁目

山手線 高田馬場駅 早稲田口改札外

面積 : 約130㎡

事業主 : 株式会社JR東日本リテールネット

運営者 : アトリエブックアンドベッド株式会社

営業時間 : [平日] 7:00～23:00 / [土曜] 8:00～23:00 / [日曜・祝日] 8:00～22:00

※開業当日は、10:00オープンを予定しています。

2 「STAND by bookandbedtokyo」での取り組みについて

「STAND by bookandbedtokyo」では、東京感動線の取り組みとして「多様な人・モノ・文化」が集まる高田馬場の駅・まちの特徴を生かし、店舗をご利用のお客さまが多様な文化や感情に触れ、お互いの理解や共感が自然に生まれる空間を創出し、「駅の文化交流拠点」としての場づくりを応援します。

①誰もが自由に本を貸し借りできる本棚

店舗入口に「誰もが自由に本を貸し借りできる本棚」を設置し、高田馬場の駅・まちに集まる方々が思い思いに持ち寄った「本」を通して、多様な文化や感情に触れ、まだ見ぬ出逢いや素敵な体験を創出します。

②多様性に合わせた店舗環境づくり ※

外国人や視覚に障害をお持ちのお客さまに向けた多言語・点字対応メニューをご用意するなど、どなたでもご利用いただきやすい店舗環境づくりを推進します。

③地域との連携づくり ※

高田馬場にゆかりのある企業や学校、団体など、地域の皆さまとコラボレーションした企画のほか、様々な分野の第一線で活躍される方をゲストにお招きしてのトークショーや音楽ライブ等のイベント開催を予定しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対応に伴い、多言語・点字対応メニューの使用開始およびイベント開催の時期については未定とさせていただきます。



「STAND by bookandbedtokyo」ロゴ

■泊まれる本屋「BOOK AND BED TOKYO」について

「泊まれる本屋」をコンセプトに東京、大阪、京都、福岡で6店舗の宿泊施設を運営しています。「読書をしているうちにいつの間にか寝てしまった」という最高の「寝る瞬間」を本に囲まれたホステルという形態で提供するというユニークなビジネスモデルとなっています。ホステルに併設されたカフェは、黒を基調としたメニューが特徴で、長い時は2時間待ちの行列ができるほどの人気です。

泊まれる本屋「BOOK AND BED TOKYO」公式ウェブサイト <https://bookandbedtokyo.com/>

「STAND by bookandbedtokyo」では、ニュージーランドの人気コーヒースタンド「Coffee Supreme」のコーヒー豆を使用し、泊まれる本屋「BOOK AND BED TOKYO」でも人気商品であるデトックス効果の高い竹炭を合わせた真っ黒のラテ「ブラックラテ」を提供します。また「STAND by bookandbedtokyo」の限定メニューとして、日本では珍しい「Detroitピザ」や、夜には京都発の人気店「sour」とコラボレーションしたサワー飲料なども販売します。



ブラックラテ

3 その他

○店舗開業に先立ち、店舗のある早稲田口コンコースの一部内外装をリニューアルし、2020年3月24日(火)より供用を開始しました。

○2020年9月15日(火)に開業110周年を迎える高田馬場駅を記念し、「STAND by bookandbedtokyo」と駅が連携したイベント等も今後検討していきます。



リニューアルした早稲田口コンコース

4 「東京感動線/TOKYO MOVING ROUND」について

○山手線は、世界的にもユニークな地上を走る都心の環状線であり、歴史的・文化的に多様な個性のまちとまち、人と人をつないでいます。

○当社では、移動を含めた日常生活の利便性を高めるサービスに加え、多様なまちや人の個性を引き出し、駅と駅、駅とまち、人とまち、人とのつながりを創り出すことで、心豊かな都市生活空間を創造してまいります。

「東京感動線」公式ウェブサイト・SNS アカウント

公式ウェブサイト <https://www.jreast.co.jp/tokyomovinground/>
Twitter https://twitter.com/tokyo_moving_o/
Instagram <https://www.instagram.com/tokyomovinground/>
Facebook <https://www.facebook.com/tokyo.moving.round.jp/>
ハッシュタグ #東京感動線 #TokyoMovingRound



■「東京感動線」拠点整備および連携した関連施設について
 拠点整備の詳細につきましては、ウェブサイト等をご覧ください。

STAND by bookandbedtokyo

2020年8月26日 開業予定

「多様性」をテーマに、さまざまな文化的背景をもつ人たちの理解や感情の共有を生み出すカフェ形態の文化交流拠点。



新大久保駅フードラボ(仮称)

2020年度 開業予定

新大久保駅直上に、世界各国様々な食が楽しめるシェアダイニングと、食のコワーキングスペースからなる共創の拠点が誕生します。

<https://www.jreast.co.jp/tokyomovinground/contents/interaction/043.html>



SHIBUYA QWS (渋谷キューズ)
 (連携する共創施設)

第I期 2019年 開業

多様な人々が交差・交流し、社会価値につながる種を生み出す会員制の施設として「渋谷から世界へ問いかける、可能性の交差点」をコンセプトにした交創施設。



©渋谷駅街区共同ビル事業者

エキラボ niri/西日暮里スクランブル

2019年10月/11月 開業

「学び」をテーマに、地域の個性が発揮される文化交流拠点・地域事業創造拠点を開業しました。

エキラボ niri: <http://klass.co.jp/about/nishinippori/>
 西日暮里スクランブル: <http://scramblebdg.com/>

西日暮里駅コミュニケーションウォール

「エキマド」2020年5月設置

地域や駅の情報発信し、コミュニケーションを創発するために設置されたボードです。



日比谷 OKUROJI

2020年9月頃 開業予定

日比谷・銀座エリアに残された100年以上の歴史ある煉瓦アーチ高架橋と高架下の大空間が、街と繋がる賑わい溢れる場所に生まれ変わります。

<https://www.jrtk.jp/hibiya-okuroji/>



ウォーターズ竹芝

2020年 一部開業

JR東日本四季劇場[春][秋]や、人と人のかかわり方や対話の大切さ、五感の豊かさを感じることができる日本初のダイアログ・ミュージアム「対話の森」などが誕生します。

<https://waters-takeshiba.jp/>

Tokyo Yard PROJECT

高輪ゲートウェイ駅周辺まちづくり

2024年頃のまちびらきに先行して、この場所を舞台にあたらしいものを生み出したい人たち、またそれを支えたいと思う人たちと共創していくための活動が始まっています。

<https://tokyoyard.com/>

